

地区名:
市町村合併 あり ・ なし
ID

地域住民聞き取り調査記入

平成18年度市町村合併に伴う日常生活圏域と保健福祉サービスの提供のあり方等に関する調査票

いまから、普段の外出の様子や人との交流などについて伺います。時間は大体1時間程度です。

*市町村合併のない地域では1時間もかかりません。

問1 性別→質問せず、あてはまるほうの番号に○を記入

1.男 2.女

問2 失礼ですが、年齢はおいくつですか。 歳(平成18年1月1日現在を記入してください)

問3 この市町村に住まわれてどの位ですか。→あてはまる番号一つに○を記入。(○は一つだけ)
※5と6両方の人は6のみに○。

1. 1年未満 2. 1年以上5年未満 3. 5年以上10年未満
4. 20年以上30年未満 5. 30年以上 6. 生まれて以来ずっと

問4 現在、どなたかとお住まいですか。家族構成を教えてください。→あてはまる番号一つに○を記入。
(○は一つだけ)

1. 単身 2. 高齢世帯(配偶者と二人暮らし) 3. その他()

問5 現在、何か勤務をされていますか。(給料を得るような仕事)→しているとこたえた場合は、さらにその頻度をきいてください。

1. している → その頻度(月に 日程度出勤)

2. していない

日ごろの生活(暮らしている様子)についてお伺いします。(グループわけ)

- ① あなたは、外出時にどなたかの手助けが必要ですか？(はい・いいえ)
- ② 手助けなく外出する人→公共交通機関を使って一人でお出かけしますか？(はい・いいえ)
- ③ この1週間の間に何日くらい外出しましたか？(日/1週間)
- * この場合の、外出とは、自宅の敷地内をでて行くことです。散歩や買い物、ごみだしなどなんでもかまいません。
- ④朝起きてから夜眠る以外にも、体を休めるために横になること(寝たり起きたりの状況)はありますか？(はい・いいえ) *この場合の体を休めるとは、食事のあとに椅子に座って30分以内で「うとうとする」ような仮眠は含みません。

問6 上記①～④の質問をした上で、調査員記入:障害老人の自立度でいうとどれにあてはまりますか。

自立		ランク J にあてはまらない (何らかの障害もない) ほど元気
生活自立	ランク J	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する 1. 交通機関等を利用して外出する 2. 隣近所へなら外出する
準寝たきり	ランク A	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない 1. 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する 2. 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている
寝たきり	ランク B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ 1. 車いすに移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う 2. 介助により車いすに移乗する

問7 現在、介護保険の認定を受けていますか。

介護度	該当する欄に○印をつけてください
受けたことがない	
非該当(自立)	
要支援	
要介護1	
要介護2以上	

グループ B(元気) →問6において、「自立」もしくは「J-1」で、かつ、問7において、「受けたことがない」か「非該当(自立)」を選択した場合

グループ A(虚弱) →上記以外はすべてグループ A とする。

日頃のおでかけについて、買い物、銀行や郵便局、もしくは通院などの3つの外出についてお伺

いします。この3つのなかでよく出かけるのはどれでしょう？

- 買い物なら→問8から順に
- 銀行や郵便局なら→問10から質問して、あと「問8買い物」と「問12病院クリニック」を
- 通院なら→問12から質問して、あと「問8買い物」と「問10銀行・郵便局」を

まず、**買い物**などのお出かけについて伺います。

問8 日頃、ご自身で買い物に行くことがありますか？

1. ある→問9へ 2. ない→問10へ

問9 問8で1.「ある」とこたえた方に対して質問。

①品物 ②場所 ③頻度 ④交通手段 ⑤時間について質問し、該当に○

複数ある場合には、その他頻度の高いものを記載。

①品物	②場所 具体的な場所や商店名（後 で地図におとせるよう）	③頻度	④交通手段	⑤行くまでにか かる時間
食料品 例：肉、魚野 菜 弁当、総菜、 菓子など		1. ほぼ毎日 2. 週2－4日 3. 週1回程度 4. 月回程度 5. その他 〔 〕	1. 徒歩 2. 自転車 3. 自家用車 4. バス・電車 5. タクシー 6. その他 〔 〕	1. 5分以内 2. 10分以内 3. 15分以内 4. 30分以内 5. 1時間未満 6. 1時間以上 7. その他 ()
生活雑貨		1. ほぼ毎日 2. 週2－4日 3. 週1回程度 4. 月回程度 5. その他 〔 〕	1. 徒歩 2. 自転車 3. 自家用車 4. バス・電車 5. タクシー 6. その他 〔 〕	1. 5分以内 2. 10分以内 3. 15分以内 4. 30分以内 5. 1時間未満 6. 1時間以上 7. その他 ()

衣料品 ①下着類 ②①以外	1. ほぼ毎日 2. 週2-4日 3. 週1回程度 4. 月回程度 5. その他 〔 〕	1. 徒歩 2. 自転車 3. 自家用車 4. バス・電車 5. タクシー 6. その他 〔 〕	1. 5分以内 2. 10分以内 3. 15分以内 4. 30分以内 5. 1時間未満 6. 1時間以上 7. その他 ()
嗜好品 例：酒やタバコ、 あるいは お花や手芸用品等	1. ほぼ毎日 2. 週2-4日 3. 週1回程度 4. 月回程度 5. その他 〔 〕	1. 徒歩 2. 自転車 3. 自家用車 4. バス・電車 5. タクシー 6. その他 〔 〕	1. 5分以内 2. 10分以内 3. 15分以内 4. 30分以内 5. 1時間未満 6. 1時間以上 7. その他 ()
その他	1. ほぼ毎日 2. 週2-4日 3. 週1回程度 4. 月回程度 5. その他 〔 〕	1. 徒歩 2. 自転車 3. 自家用車 4. バス・電車 5. タクシー 6. その他 〔 〕	1. 5分以内 2. 10分以内 3. 15分以内 4. 30分以内 5. 1時間未満 6. 1時間以上 7. その他 ()

次に **銀行や郵便局** へのお出かけについて伺います。

問10 日頃、ご自身で銀行や郵便局に行きますか？

1. 行く → 問11へ 2. 行かない → 問12へ

問 11 問 10 で 1. 「行く」とこたえた方に対して質問。

①場所 ②頻度 ③交通手段 ④時間について質問し、該当に○を記入。②は実際の場所や支店名などを確認する。

銀行や郵便局に複数通っている場合には、その他頻度の高いものを記載。

①	②場所 具体的な場所や商店名 (後で地図におとせるよう)	③頻度	④交通手段	⑤行くまでにかかる時間
もっとも行く所	名称や支店名など	1. ほぼ毎日 2. 週2-4日 3. 週1回程度 4. 月 回程度 5. その他 〔 〕	1. 徒歩 2. 自転車 3. 自家用車 4. バス・電車 5. タクシー 6. その他 〔 〕	1. 5分以内 2. 10分以内 3. 15分以内 4. 30分以内 5. 1時間未満 6. 1時間以上 7. その他 ()
次に行くところ (あれば)		1. ほぼ毎日 2. 週2-4日 3. 週1回程度 4. 月 回程度 5. その他 〔 〕	1. 徒歩 2. 自転車 3. 自家用車 4. バス・電車 5. タクシー 6. その他 〔 〕	1. 5分以内 2. 10分以内 3. 15分以内 4. 30分以内 5. 1時間未満 6. 1時間以上 7. その他 ()

次に **病院やクリニック** への受診や通院の状況について伺います。

問 12 日頃、ご自身の受診や通院のために病院やクリニックに行きますか？

1. 行く → 問 13 へ 2. 行かない → 問 14 へ

問 13 問 12 で 1. 「行く」とこたえた方に対して質問。

①場所 ②頻度 ③交通手段 ④時間について質問し、該当に○をする。

病院・クリニックが複数ある場合には、その他頻度の高いものを記載。

①	②場所 具体的な病院やクリニック名 (後で地図におとせるよう)	③頻度	④交通手段	⑤行くまでにかかる時間
もっとも行く所		1. ほぼ毎日 2. 週2-4日 3. 週1回程度 4. 月 回程度 5. その他 〔 〕	1. 徒歩 2. 自転車 3. 自家用車 4. バス・電車 5. タクシー 6. その他 〔 〕	1. 5分以内 2. 10分以内 3. 15分以内 4. 30分以内 5. 1時間未満 6. 1時間以上 7. その他

				()
次に行くところ (あれば)		1. ほぼ毎日 2. 週2-4日 3. 週1回程度 4. 月 回程度 5. その他 ()	1. 徒歩 2. 自転車 3. 自家用車 4. バス・電車 5. タクシー 6. その他 ()	1. 5分以内 2. 10分以内 3. 15分以内 4. 30分以内 5. 1時間未満 6. 1時間以上 7. その他 ()

問14 **上記以外**で、よく行くところがありますか？→ここで住民活動や保健センターに事柄がでたらそちらで質問して、ここには記入しない(パチンコや個人個人で申し込む学習もの、旅行などはこちらで)。

①場所 ②頻度 ③交通手段 ④時間について質問し、該当に○をする。

病院・クリニックが複数ある場合には、その他頻度の高いものを記載。

	①場所 具体的な病院やクリニック名(後で地図におとせるよう)	②頻度	③交通手段	④行くまでにかかる時間
よく行くところ		1. ほぼ毎日 2. 週2-4日 3. 週1回程度 4. 月 回程度 5. その他 ()	1. 徒歩 2. 自転車 3. 自家用車 4. バス・電車 5. タクシー 6. その他 ()	1. 5分以内 2. 10分以内 3. 15分以内 4. 30分以内 5. 1時間未満 6. 1時間以上 7. その他 ()

次に**地域の人や近所の人との交流**について伺います。

問15 この1週間くらいの間に地域の人や近所の人と会いましたか？

*この場合の「会う」とは、偶然会って挨拶を交わしたなどの程度は含まれず、何か目的をもって会いに行ったり、来てもらったりしたことを指します。

1. 会った→問15へ 2. 会ってない→問16へ

問16 問15で1.「会った」とこたえた方に対して質問。

① 何処で(場所) ②どの位の頻度で ③交通手段は ④そこにいくまでにかかる時間は、について質問し、該当に○。複数ある場合には、その他頻度の高いものからを記載。

	①何処で? 具体的な場所や町名 (後で地図におとせるよう)	②頻度	③交通手段	④行くまでにかかる時間

自治会や何々会など自治体などではじめから構成員や会の目的などが決められているような組織

(地縁組織) とあなたとのつながりについて伺います。

問20 あなたが参加しているものはありますか。 以下の中からあてはまる番号全てに○を記入。
(○はいくつでも) *ここでいう「参加する」とは、かかわりの多少にかかわらず関係していると思っている
地縁組織にはすべて○を選択。

1. 隣組 2. 地区(班) 3. 字会・町会・自治会 4. 商店街組合 5. 子ども会
6. 婦人会 7. 青年会 8. 老人会 9. 壮年者の会 10. 防災協会・消防団
11. 農業委員会 12. PTA 13. 体育協会 14. 檀家 15. 氏子会 16. その他()
17. ない

問21. これまでに自治会や公民館の活動に関わったことはありますか？

以下の中からあてはまる番号全てに○を記入。(○はいくつでも)

1. 以前、役員をしたことがある(自治会・公民館活動)→問23-1△
2. 現在、役員や実行委員である(自治会・公民館活動)→問22△
3. 以前、役員が企画してくれた行事に参加したことがある(自治会・公民館活動)→問23-1△
4. 現在、役員が企画してくれた行事に参加している(自治会・公民館活動)→問22△
5. いずれにも企画したことも参加したこともない→問23-1△
6. その他()→問23-1△

問22 現在、参加している(あるいは、企画している)と答えた方に伺います。それはどのような活動ですか。以下の中からあてはまる番号全てに○を記入。(○はいくつでも)

1. 祭りなどのイベント 2. 廃品回収やバザーなど 3. 映画会や講演会
4. 地域の食事会や飲み会 5. 地域の旅行会 6. 公民館活動(スポーツ)
7. 公民館活動(文化系)
8. その他()

これからは、これまでにあげた自治会や何々会**以外**の**住民の自主的な活動**について伺

います。

問23-1 あなたは住民の自主的な活動に参加していますか。

あてはまる番号一つに○を記入。(○は一つだけ)

1. 参加している→問23-2△ 2. 参加していない→問24△

問 23-2 問 23-1 で 1. 参加していると答えた方に質問。

活動の具体的な内容はどのようなものですか。

以下の中からあてはまる番号全てに○を記入。(○はいくつでも)

- | | | | |
|------------------|----------------------|--------|-------------|
| 1. 運動や体操 | 2. 手工芸・コーラスなど趣味のサークル | | |
| 3. サロン・おしゃべり・食事会 | 4. 旅行や外出 | 5. 学習会 | 6. ボランティア活動 |
| 7. その他 (|) | | |

問 23-3 問 23-1 で 1. 参加していると答えた方に質問。

あなたが、その活動を始めたきっかけはどんなことですか。以下にそのまま記入。

--

問 23-4 問 23-1 で 1. 参加していると答えた方に質問。

活動の拠点としている場所はどこですか。

以下の中からあてはまる番号全てに○を記入。(○はいくつでも)

- | | | | |
|---------------|----------|-------------|----------|
| 1. 保健センターや保健所 | 2. 役所や役場 | 3. 公民館や自治会館 | 4. 病院や施設 |
| 5. 自宅 | 6. その他 (|) | |

地域の人との暮らしについて伺います。

問 24 あなたが身近な地域で、無くなると困るものやあって欲しいものは何ですか。

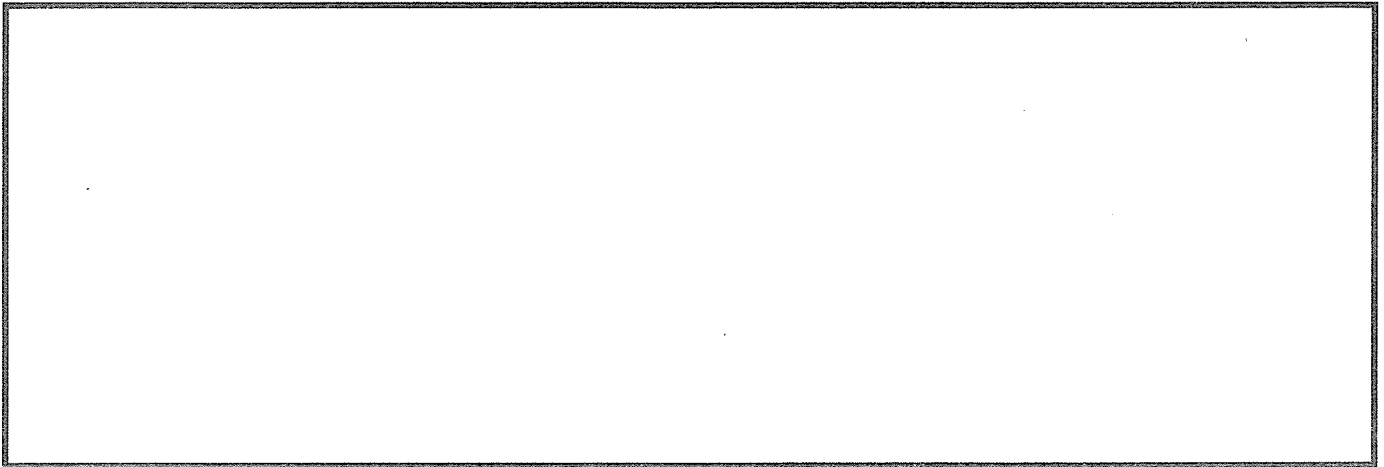
自由回答のためそのまま記入。あまり出てこなければ無理して聞かなくても可。

* スーパーや生協、駅やバス、病院やクリニック、バス無料券、出張所などが想定されます。

○無くなると困るもの	○あって欲しいもの

問 25 あなたが地域の人との暮らしで**大事にしていること**はありますか。

自由回答のためそのまま記入。あまり出てこなければ無理して聞かなくても可。



ここからは**保健所（地域の名称で）**に関連した質問です。

あなたが日頃利用する保健福祉サービスについて、伺います。

問 27-1 あなたはこの1ヶ月の間に保健福祉センターに行くことがありましたか。あてはまる番号一つに○を記入。（○は一つだけ）ここでいう保健福祉センターとは、問19-2にあるような内容の保険事業を実施しているところを言います。予防センターや健康プラザなどのその地域での名称でかまいません。

1. あった→問27-2△ 2. なかった→問28△ 3. わからない→問29△

問 27-2 問 27-1で1. 行くことがあったとこたえた方に質問。それは主にどのような目的で利用しましたか。あてはまる番号一つに○を記入。（○は一つだけ）

1. 健康診査 2. 体操などの教室 3. 講演会 4. 健康相談 5. 介護の相談
6. 会合 7. その他（ ）

問 27-3 問 27-2で1. 行くことがあったとこたえた方に質問。その会場に行くために利用する主な交通手段は何ですか。あてはまる番号一つに○を記入。（○は一つだけ）

1. 徒歩 2. 自転車 3. 自動車 4. バス 5. 電車 6. タクシー
7. その他（ ）

問 28 問 27-1で2. 行かなかったとこたえた方に質問。**行かなかった理由**があれば教えて下さい。

以下の中からあてはまる番号全てに○を記入。（○はいくつでも）

1. 何が行われているのか知らない 2. 行きたいメニューがない
2. 行きたいが送迎の手段がない 4. 興味・関心がない 5. 時間的余裕がない
6. その他（ ）

問 29 **保健福祉センター（地域の名称で）**でやっている**リハビリ教室や体操教室**を利用することがありますか。あてはまる番号一つに○を記入。

（○は一つだけ）*ここでいう教室とは、行政主催の事業を指し、社協などへ行政から委託して実施しているような事業も含まれます。

1. 利用する→問30-1△ 2. 利用しない→問31△ 3. わからない→問31△

問 30-1 問 29で1. 利用するとこたえた方に質問。それは主に何処に行って利用していますか。あてはまる番号一つに○を記入。（○は一つだけ）

1. 役所・役場 2. 保健福祉センター 3. 自治会館 4. 公民館 5. 病院
6. 診療所 7. その他（ ）

問 30-2 問 29 で 1. 利用する ところ へ 質問。

その会場に行くために利用する主な交通手段は何ですか。

あてはまる番号一つに○を記入。(○は一つだけ)

- | | | | | | |
|----------|--------|--------|-------|-------|---------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. 自動車 | 4. バス | 5. 電車 | 6. タクシー |
| 7. その他 (|) | | | | |

問 31 次に、(自治体や社協などが音頭をとっている) **サロン** を利用することがありますか。

あてはまる番号一つに○記入。(○は一つだけ)

※地域でのお茶会、食事会など、閉じこもり予防を目的として地域で行われている集まりのようなものであれば「サロン」という名称でなくても可。事前に自治体に確認してその名称で質問します。

- | | | |
|-----------------|----------------|----------------|
| 1. 利用する→問 32-1△ | 2. 利用しない→問 33△ | 3. わからない→問 33△ |
|-----------------|----------------|----------------|

問 32-1 問 31 で 1. 利用する ところ へ 質問。

それは主に何処に行き利用していますか。あてはまる番号一つに○記入。(○は一つだけ)

- | | | | | |
|----------|-------------|---------|--------|-------|
| 1. 役所・役場 | 2. 保健福祉センター | 3. 自治会館 | 4. 公民館 | 5. 病院 |
| 6. 診療所 | 7. その他 (| | | |

問 32-2 問 31 で 1. 利用する ところ へ 質問。

その会場に行くために利用する主な交通手段は何ですか。

あてはまる番号一つに○を記入。(○は一つだけ)

- | | | | | | |
|----------|--------|--------|-------|-------|---------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. 自動車 | 4. バス | 5. 電車 | 6. タクシー |
| 7. その他 (|) | | | | |

問 33 保健福祉サービス の中で、あなたの近所で、「もっとこんなものが身近にあったらいいな」と思うサービスはありますか。そのままを記載。

--

問 34 最近(ここ 1 年くらいの間、保健サービスや福祉サービスの中で **行政職員と関わり** を持った事) がありますか。あてはまる番号一つに○を記入。(○は一つだけ)

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. ある→問 35-1△ | 2. ない→問 36△ |
|---------------|-------------|

問 35-1 問 34 で 1. あると答えた方に質問。それは誰とですか。
あてはまる番号一つに○を記入。(○は一つだけ)

1. 保健所の事務職員 2. 保健所の保健師 3. 役所・役場の事務職員
4. 保健センターの保健師 5. 在宅介護支援センターの職員 6. 市町村長や知事
7. その他 ()

問 35-2 問 34 で 1. あると答えた方に質問。それはどのような関わりでしたか。(自由記載)

問 36 これまでに行政職員から、保健や福祉のサービス、まちづくりのあり方についてこのままでいいかなどと**意見をもとめられたり、尋ねられたこと**はありますか。

あてはまる番号一つに○を記入。(○は一つだけ)

1. ある→問37へ 2. ない→質問終了 3. その他 () →質問終了

問 37 問 36 で 1. あると答えた方に質問。それはどのような事柄ですか。そのまま記入。

以上で質問はおしまいです。長時間にわたり、ご協力ありがとうございました。

記入漏れがないか今一度ご確認ください。

☆ 謝品をお渡しして、**名簿にサイン**をもらってください。

問 38 調査終了後、調査員記入

買い物・銀行・病院・人との交流の範囲＝

自宅を中心に**半径** km

<自宅と外出先との関係>メモ

買い物は？

銀行・郵便局は？

通院は？

自主活動は？

保健・福祉サービスは？

最寄り駅は？



あなたの自宅

平成 18 年度厚生労働科学研究費補助金（政策科学推進研究事業）
分担研究報告書

乳幼児を持つ母親の日常生活圏域と保健福祉サービス

分担研究者 福島 富士子 国立保健医療科学院公衆衛生看護部支援技術室長
奥田 博子 国立保健医療科学院公衆衛生看護部主任研究官
米澤 洋美 国立保健医療科学院公衆衛生看護部研究員
山田 和子 和歌山県立医科大学保健看護学部教授

研究要旨：市町村合併により広域化した地域での生活は、子育て中の親にどのような影響をもたらしたのか、また、住み慣れた地域で安心して子育てのしやすい暮らしをしていくためには、何処にどのようなサービスがあれば良いのかなど、保健・福祉のサービスのあり方を考える資料とすることを目的に、地域特性の異なる 11 地域の乳幼児（0～3 歳児まで）を持つ 108 名の母親を対象として聞き取り調査を行った。

その結果、市町村合併による影響はほとんど無く、日常的に行き来する範囲は都市部が狭く、地方市や山村・離島になるほど広くなるが、15 分以内が大半であった。市町村の保健センター等による保健福祉サービスは 9 割近くが利用し、その内容は、「乳幼児健診」「予防接種」「家庭訪問」「電話育児相談」の順であった。児童館や子育て支援センターなど公的な機関が行うサービスと民間が行う育児サークル等のサービスと合わせて、母親たちは必要なものを利用しながら子育てをしている実態が浮きぼりになった。サービスへの要望の声としては、公的なサービスがより身近な場所で、土日を含め、予約なく利用できるような手軽を望んでいた。

今後、望まれる保健福祉のサービスのあり方としては、乳幼児を育てている母親が子連れで気軽に通うことのできる居場所、交流の場において、気軽に相談できる保健福祉サービスが地域特性を踏まえて提供されることの必要性が示唆された。

研究協力者

俵 麻紀 国立看護大学校講師
澤 麗子 沖縄県宮古市社会教育課非常勤職員
前馬理恵 和歌山県立医科大学保健看護学部講師
佐々木早苗 宮城県遠田郡美里町南郷総合支所健康福祉係長

A. 研究目的 市、山村・離島など異なる地域特性の地域
本研究では、都市部、都市郊外・地方 を選定し、0～3 歳までの乳幼児を子育て

中の母親を対象に、①日常生活の範囲や地域への愛着②地縁組織とのかかわりの有無と程度③保健福祉サービスの利用の実態④市町村合併の実施による日常生活や保健福祉サービス利用などへもたらす変化、などについて聞き取りによる調査を行う。それにより、育児をしている母親の生活の実態と必要な保健福祉サービスの利便性が向上できるようになるための要因や子育てに関する地域づくりに対して、住民が主体的に参画しやすくなる要因などを明らかにする。さらに乳幼児を子育て中の住民にとって生活圏域を考慮した保健福祉サービスの体制整備のあり方を示すことを目的とする。

B. 研究方法

1) 対象

0～3歳までの乳幼児を育児中の母親である。

対象地域は、市町村の規模や地域特性の異なる全国11箇所に依頼した。地域特性別に「都市部」、「都市郊外・地方市」、「山村・離島」の3群に分け、さらに市町村合併が行われた地域を選定し、都市郊外、地方市、山村・離島の3群に分けて分析をおこなった。

2) 研究期間

平成18年8月～12月

3) 研究方法

調査員による母親への面接聞き取り調査である。

4) 調査内容

調査内容は、①対象者の属性、家族構成、居住年数、②母親の就労状況、③子育て中における、身近な生活の範囲と外出状況④地縁組織とのかかわり⑤保健・福祉サービスの利用状況と、そのあり方⑥母親による日常の行動半径（距離）等である。

さらに、市町村合併を行った自治体の母親には、合併に関する以下の項目についてもたずねた。

⑦合併に伴う住民の日常生活（広がりや付き合いなど）の変化⑧合併前後での保健・福祉サービスの利用状況と日常生活圏域との関係

5) 分析方法

聞き取り調査の数的データは、SPSS15.0J for Windowsを用いて集計し、市町村合併の有無及び地域特性ごとに比較した。行動半径は、地図上に記載した活動範囲の平均的な範囲（自宅からの距離）を割り出し求めた。

6) 倫理的配慮

依頼にあたり、対象者には、調査時に本研究の意義や目的、方法、参加は対象者の自由意志によって決定され調査結果の公表により個人を特定されることはないことについて、それぞれ文書を用いて調査者が直接説明した。説明に対する同意を得た上で、本研究の対象者とした。

C. 研究結果

1) 市町村の属性（表I-1）

調査対象は、自治体数11箇所、研究協力者108名であった。その内訳は、都市

部 2 箇所 24 名、都市郊外・地方市 6 箇所 61 名、山村・離島 3 箇所 23 名を対象とした。さらに、このうち市町村合併があった自治体は、都市郊外で 1 箇所、地方市 2 箇所、山村・離島のうちの 3 箇所である。

2) 回答者の属性 (表 I-2)

調査対象者の平均年齢は、 32.1 ± 4.2 歳 ($M \pm SD$) であった。年齢層は、31~35 歳が 50 (46.3%) と半数近くを占め、次いで 26~30 歳が 28(25.9%) が多かった。

3) 就業状況 (表 I-3)

仕事を持っているものは 29 (26.9%)、無いものは 79 (73.1%) であった。就労者の職種は、会社員が 8 (27.6%) と最も多く、ついでパート・アルバイト・非常勤と自営業がそれぞれ 6 (20.7%) であった。

4) 家族構成 (表 I-4)

核家族が 83 (76.9%) と、8 割近くを占めた。二世帯家族は 18 (16.7%)、その他は 7 (6.5%) であった。

子どもの人数では、1 人の子どもをもつものが 56 (51.9%) で、子どもを 2 人の家庭は 34 (31.5%)、子ども 3 人の家庭は 16 (14.8%)、子ども 4 人の家庭が 1 (0.9%)、子ども 6 人の家庭が 1 (0.9%) であった。

5) 居住年数 (表 I-5)

居住年数は、1 年以上~5 年未満のものが 41 (38.0%) と最も多く、ついで 5 年

~10 年未満が 31 (28.7%)、20 年以上が 21 (19.4%)、10 年~20 年未満が 8 (7.4%) であり、1 年未満が 7 (6.5%) と最も少なかった。

6) 日常生活圏域の範囲 (表 I-6)

母親が子どもをつれての買い物等、日常的に行き来する生活圏域を自宅からの半径にて算出した結果、全体では最短は 0.5 km であり、最長は 100 km、平均は 11.6 km の範囲であった。

地域特性別に見ると都市部の平均は 2.1 km、都市郊外・地方市の平均は 8.9 km、山村・離島の平均は 21.4 km であった。都市部が最も短く、都市郊外・地方市、山村・離島に行くにつれてその範囲は広がっていた。

7) 身近な地域の範囲と愛着 (表 II-1、2)

「身近な地域」と感じる範囲は、隣近所が 53 (49.1%)、マンションや団地の一角が 25 (23.1%) で 7 割以上を占めた。次いで、駅までの道のり 21 (19.4%)、町会 20 (23.1%)、小学校区 20(23.1%)、自治会 16(14.8%) であり、市町村全域と答えたものは 16 (19.4%) であった。

居住する「地域に対する愛着」は、どちらかといえばある 43(39.8%)、おおいにある 37(34.3%) であり、両方をあわせると 7 割以上の方が地域への愛着の高さを示した。

8) 日常生活範囲

(1) 買い物 (表 III-1)

買い物に出かける頻度は週 1 回程度 78 (33.8%)、週 2-4 日 77 (33.3%)、月数

回 36 (15.6%) であった。施設への交通手段としては、自家用車 146 (63.2%)、自転車 31 (13.4%)、徒歩 (バギー) 26 (11.3%) の順に多かった。所要時間は 5 分以内が 79 (34.2%) で最も多く、以下 10 分以内が 74 (32.0%)、15 分以内 33 (14.3%) の順であった。

(2) 外食 (表Ⅲ-2)

外食に出かける頻度は月 1 回が 45 (52.3%) と最も多く、次いで週 1 回程度 14 (16.3%) であった。施設への交通手段としては、自家用車 66 (76.7%)、徒歩 (バギー) 8 (9.3%) であった。所要時間は 30 分以内が 24 (27.9%) で最も多く、10 分以内が 22 (32.0%) と次いで多かった。

(3) 日常的に子どもと一緒に良く出かける場所 (表Ⅲ-3)

買い物や外食以外で、日常的に子どもと一緒に良く出かける場所は、全体では公園・遊び場 90 (42.0%)、実家 72 (34.0%)、病院 22 (6.0%) であった。

地域別に見ると、都市部では、公園・遊び場 30 (47.6%) が一番多く、続いて実家 18 (28.6%) であった。地方都市・地方市では、公園・遊び場が 51 (42.2%) であり、続いて実家 41 (36.2%)、病院 8 (8.6%) の順であった。山村・離島は実家 12 (34.3%)、続いて公園・遊び場 11 (31.4%)、病院 3 (8.5%) の順であった。

公園や遊び場に出かける頻度は、子どもと一緒によく出かける場所は公園や遊び場であると答えた人の中で、都市部では週 2~4 回と月 1~2 回が同数で各 8

(26.7%) であった、続いてほぼ毎日・週 1 回も同数で 6 (20%) の順であった。都市郊外・地方市では、週 1 回と月 1 回~2 回が同数で各 14 (28%) であり、週 2~4 回は 12 (24%)、ほぼ毎日は 8 (16%) の順であった。山村・離島では、週 2~4 回は 3 (30.0%) であり、続いてほぼ毎日、週 1 回、月 1~2 回は 3 (20%) であった。

実家に出かける頻度は都市部では、週 1 回は 7 (38.9%) であり、月 1~2 回は 4 (22.2%)、ほぼ毎日は 2 (11.1%) であった。都市郊外・地方市は、月 1~2 回は 13 (25.0%)、続いて週 1 回は 12 (21.4%)、週 2~4 回は 9 (16.0%)、ほぼ毎日、週 5~6 回はそれぞれ 3 (5.3%) の順であった。山村・離島では、週 2~4 回、週 1 回がそれぞれ 4 (33.3%)、ほぼ毎日、月 1~2 回がそれぞれ 2 (16.7%) の順であった。

9) 子育てに関するサービスの利用状況

(1) 利用サービス

全体において、子育てに関するサービスの利用状況で最も多かったものは、育児サークル 21 (19.4%)、子育て支援センター 18 (16.7%)、児童館または児童センター 13 (12.0%)、子育てネットワーク 4 (3.7%)、ファミリーサポートセンター 2 (1.9%) その他 20 (18.5%) であった。

その他には保育園のフリースペース、保健センターでの幼児教室、NPO主催の子育て支援サービス、幼児教室、スポーツ教室などがあつた。

(2) 主な利用サービスの利用頻度とアクセス

①児童館もしくは児童センター

利用頻度は月1回が8(33.3%)と最も多く、次いで週1回程度と週2~4回が各々6(25.0%)を占めた。施設への交通手段としては、徒歩(バギー)8(33.3%)と最も多く、次いで自転車、自家用車が各々7(29.2%)であった。所要時間は5分以内が12(50.0%)と半数を占め、10分以内7(29.2%)、15分(16.1%)であった。

②子育て支援センター

利用頻度は週2~4回が10(35.7%)と最も多く、次いで週1回程度9(32.1%)、月1回が6(21.4%)であった。

施設への交通手段としては、自家用車(53.6%)と最も多く、徒歩(バギー)7(25.0%)、自転車4(14.3%)であった。所要時間は5分以内が13(46.4%)と半数近くを占め、10分以内7(25.0%)、15分以内、30分以内が各々3(10.7%)であった。

③育児サークル

利用頻度は月1回が13(56.5%)と最も多く、次いで週1回程度8(34.8%)であった。

施設への交通手段としては、自家用車11(47.8%)自転車8(34.8%)であった。所要時間は10分以内が10(43.5%)で最も多く、5分以内が7(30.4%)であった。

④子育てネットワーク

利用頻度は週2~4回が3(75.0%)で、施設への交通手段としては、自転車3(75.0%)、自家用車1(25.0%)であった。所要時間は5分以内と10分以内が各2(50.0%)であった。

地域別にみると、都市部においては児童館もしくは児童センターの利用が7(29.2%)であり、次いで子育てネットワークの利用が3(12.0%)であった。都市郊外・地方市の地域においては育児サークルの利用が15(24.6%)であり、ついで子育て支援センター8(13.1%)であった。児童館もしくは児童センターの利用2(3.3%)であった。山村・離島においては、子育て支援センターの利用が10(43.5%)、次いで育児サークルの利用が6(2.6%)であった。

10) 地縁組織とのかかわり

参加している地縁組織の有無と種類についてたずねたところ、参加有りと最も回答が多かった組織は字会・町会・自治会で43(39.8%)であった。次いで地区・班が18(16.7%)、子ども会・育成会が9(8.3%)、PTAが7(6.5%)である。

最も回答が多かった組織は字会・町会・自治会であり、参加の目的は、祭りなどのイベントへの参加13(30.2%)が最も多く、バザーや廃品回収4(9.3%)であった。

11) 保健(福祉)センターの利用について

(1) 利用の有無

保健(福祉)センターの教室や相談事業を利用する96(88.9%)、利用しない11(10.2%)とほとんどの方が利用すると答えた。

(2) 利用したサービス

乳幼児健診 80(83.3%)が最も多く、予防接種 76 (79.2%)、面接による育児相談 34 (35.4%)、子育てに関する教室事業 33 (34.4%)、家庭訪問 22 (22.9%)、電話による育児相談 12 (12.5%)の順であった。

(3) 利用しない方の理由

何が行われているのか知らない 5 (45.5%)、時間的余裕がない 2(18.2%)、参加したいメニューがない、送迎の手段がないが各々1 (9.1%) であった。

(4) 保健福祉に関連するサービスで「こんなサービスや施設があればいい」と思うもの

行政のサービスに関するものでは、健診や予防接種サービスの土日の実施、各種事業などを身近な地域で実施してほしい、実施する頻度を増やしてほしいなどがあった。

施設面では、身近なところで子どもが遊べる公園や児童館の設置、雨の日でも遊べるような施設、予約などの必要のないいつでも自由に遊ばせることのできる施設などが聞かれた。

施設などの運営面においては、緊急な場合などの一時保育の施設の増加や情報の提供、これらのサービスを気軽に利用できるようにしてほしいなどがあった。

そのほかには、食事つきで子どもを遊ばせてくれるサービスや、子どもだけを見てもらって親が自由な時間を確保できるようにしてほしいといった意見も複数の母親から聞かれた。

(5) 行政職員とのかかわりをもったことがあるか

有り 93 (86.1%)、なし 11 (10.2%)、NA4 (3.7%) であった。

その内容は、保健所や保健センター保健師からの健診、予防接種、育児相談、育児教室などでのかかわりが多く、保健所や役場の事務職員との手当てや、各種申請業務などの事務的な手続きによるかかわりなどがあった。

1 2) 市町村合併による日常生活の変化 (市町村合併自治体の該当者) (表IV)

(1) 新市町村の窓口はわかりやすくなったか

全体では、変わらない 18(40.9%)、そうは思わない 13(29.5%)、わからない 9(20.5%)、そう思う 4(9.1%)であった。地域特性別では、都市郊外では、変わらない 7(63.6%)、地方市ではわからない 4(40.0%)、山村、離島では、変わらない 9(39.1%)、そうは思わない 9(39.1%)が多かった。

(2) 利用できる施設やサービスは増えたか

全体では、変わらない 15(34.1%)、そうは思わない 13(29.5%)、わからない 9(20.5%)、そう思う 7(15.9%)であった。地域特性別では、都市郊外では、変わらない 6(54.5%)、地方市では、そうは思わない 4(40.0%)、山村、離島では、変わらない 8(34.8%)が多かった。

(3) 保健福祉センターが提供される場所は近くなった

全体では、変わらない 19(43.2%)、そうは思わない 16(36.4%)、わからない 6(13.6%)、そう思う 3(6.8%)であっ